



文化博物館だより 第181号

2007年8月14日

みなさん、こんにちは。立秋を過ぎたとはいえ暑い日が続きます。熱中症に気をつけましょう！

● 石臼をひこう

8月8日(水) 体験イベント「石臼をひこう」が行われました。ロビーに置かれた3台の石臼で大豆を挽くと、周囲に大豆の香ばしい匂いが立ちのぼりました。臼を挽きながら豆を穴に落としていきますが、このとき豆は少しずつ落とすのが細かく挽くコツだそうです。豆をどんどん落としてしまう子どもさんには、周囲で見ていたお客様からも「早すぎてはダメ」とアドバイスが。

大豆の粉が飛び散ってもいいように床にブルーシートを敷いていましたが、「昔は和紙に柿渋を塗っていた。そのほうが丈夫だった」と体験談も披露され、ボランティアさんとお客様で昔話に花が咲きました。

小学生でも片手でくるくる回しています



● 昆虫探検隊の標本が完成しました

昆虫探検隊もいよいよ最終日。これまで採集してきた昆虫を展示用のケースに入れ、キャプションをつけました。難しいのは昆虫の名前を探すこと。図鑑を片手にお母さんが頑張ってくれますが「これは口の形が少し違う」「あれは羽の模様が少し違う」となかなか見つけれません。最初に標本が完成した隊員に自慢の一品を尋ねるとハチを見せてくれました。日常触れないハチに触れたことが面白かったそうです。

先生が仰るには、ナガサキアゲハやヒョウモンチョウなど暖かい地方に生息していた昆虫が、80年代頃から明石でも見られだしたそうです。昆虫の世界にも温暖化の影響が見られるようです。



大きさや色のバランスを見ながら、大事にケースに入れていきます

昆虫探検隊の皆さんの作った標本は8月21日～31日まで体験学習室にて展示しますので、どうぞお楽しみに！